

施策評価調書(26年度実績)

施策コード I-8-(1)

| | | | | | | |
|------|-----|----------------------------------|-------|-------------|---------|----|
| 政策体系 | 施策名 | 地域で共に支え合うまちづくり | 所管部局名 | 福祉保健部 | 長期総合計画頁 | 67 |
| | 政策名 | 地域の底力の向上～助け合い、支え合いにより豊かな地域生活の実現～ | 関係部局名 | 企画振興部・福祉保健部 | | |

【Ⅰ. 主な取り組み】

| 取組No. | ① | ② | ③ |
|-------|-----------------|---------------------|------------------------|
| 取組項目 | 地域ぐるみで支え合う社会づくり | 心豊かな福祉社会の発展を担うひとづくり | バリアフリー化の推進とユニバーサル社会の構築 |

【Ⅱ. 目標指標】

| | 指 標 | 関連する取組No. | 基準値 | | 26年度 | | | 27年度 | 目標達成度(%) | | | | | | | | | |
|------|-------------------------------------|-----------|-----|-------|--------|---------------|---------------|--------|----------|----|----|-----|-----|--|--|--|--|--|
| | | | 年度 | 基準値 | 目標値 | 実績 | 達成度 | 目標値 | 25 | 50 | 75 | 100 | 125 | | | | | |
| i | 見守りなどの小地域ネットワーク組織が設置された自治会数(団体) | ① | H16 | 1,461 | 2,720 | 2,703 | 99.4% | 2,870 | | | | | | | | | | |
| ii | 自主防災組織活動実施率(%) | ① | H16 | 41.8 | 88.0 | 78.2 | 88.9% | 100 | | | | | | | | | | |
| iii | 授業に地域人材を活用している学校の割合(%) | 小学校 | ① | H16 | 90.1 | 98.8 (H25) | 98.6 (H25) | 99.8% | 100 | | | | | | | | | |
| | | 中学校 | ① | H16 | 76.2 | 95.8 (H25) | 95.3 (H25) | 99.5% | 100 | | | | | | | | | |
| iv | ボランティアコーディネート率(県ボランティア・市民活動センター)(%) | ② | H22 | 39.3 | 48.0 | 76.5 | 159.4% | 50 | | | | | | | | | | |
| v | 社会福祉士の登録者数(人) | ② | H16 | 742 | 2,250 | 2,206 | 98.0% | 2,400 | | | | | | | | | | |
| vi | 介護福祉士の登録者数(人) | ② | H16 | 5,723 | 15,400 | 15,893 | 103.2% | 16,400 | | | | | | | | | | |
| vii | バリアフリー化された県営住宅の割合(%) | ② | H16 | 11.2 | 21.0 | 21.4 | 101.9% | 22 | | | | | | | | | | |
| viii | 公共的施設などで車いす使用者が利用できるトイレの設置割合(%) | ③ | H15 | 42.1 | 58.0 | 55.3 | 95.3% | 60 | | | | | | | | | | |
| ix | あったか・はーと駐車場協力施設数(施設数) | ③ | H22 | 0 | 1,000 | 1,175 | 117.5% | 1,000 | | | | | | | | | | |

【Ⅲ. 指標による評価】

| 評価 | | 理 由 等 | 平均評価 |
|------|-------|---|------|
| i | 概ね達成 | 地域の中心となる人物の高齢化等でネットワークが解散した地域があったため、目標値には僅かに届かなかった。 | 達成 |
| ii | 達成不十分 | 全市一斉避難訓練を2年又は3年に1度実施する市町村があるため目標値に達しなかった。引き続き訓練実施や啓発活動推進を呼びかける。 | |
| iii | 概ね達成 | 地域人材の活用による様々な教育活動が充実したことにより、学校での一層の活用が高まり、目標値を概ね達成した(25年度に県下の概ね全ての小中学校で地域人材を活用した授業を実施できた)。 | |
| iv | 達成 | 東日本大震災や九州北部豪雨災害での災害ボランティアの活動をはじめ、県民の社会貢献、福祉活動等への関心の高まりとともに、ボランティア活動への理解も深まっており、ボランティア新規登録後、すぐにボランティア活動の実践へと結びついている。 | |
| v | 概ね達成 | 目標値には僅かに届かなかったが、職場体験や福祉就職フェアの開催など、福祉・介護の仕事への入職率増加に向けた取組成果もあり、前年度比で151人増加した。 | |
| vi | 達成 | 職場体験や福祉就職フェアの開催をはじめ、当事者団体による休職者の再就職支援など、福祉・介護の仕事への入職率増加に向けた取組の成果もあり、目標値を達成した。 | |
| vii | 達成 | 計画に見合う改善ができており、高齢者や障がい者にやさしい住宅づくりに寄与している。 | |
| viii | 概ね達成 | ユニバーサルデザインの一層の普及や福祉のまちづくり条例の指導等を通じて、車いす使用者が利用できるトイレの設置を働きかけたことにより、目標値を概ね達成した。 | |
| ix | 達成 | 県下各地の事業所を直接訪問し依頼するという取組を行ったことにより、目標値を達成することができた。 | |

【IV. 指標以外の観点からの評価】

| 取組 No. | 指標以外の観点からの評価 |
|--------|--|
| ① | ・平成27年4月1日施行の生活困窮者自立支援法に基づく、生活困窮者支援の体制構築に向け、日出町において生活困窮者に対する支援事業を実施するとともに、各市への情報提供や町村部の実施体制の構築に向けた取組を実施した。(相談件数121件) |
| ② | ・職場体験事業(延べ400日、参加人数177人)や、就職フェア(5回)を実施し、福祉介護職場の人材確保を図った。 |
| ③ | ・県内の48の小中学校で2,923人の児童生徒及び、県内2カ所の商工会議所を通じて民間事業者に対して、身体障がいのある当事者や支援者等による出前講座を行い、ユニバーサルデザインの理解促進を図った。 |

【V. 施策を構成する主要事業】

| 取組 No. | 事業名(26年度事業) | 事業コスト(千円) | 事務事業評価 | | 主要な施策の成果掲載頁 |
|--------|--------------------|-----------|--------|----------|-------------|
| | | | 総合評価 | 27年度の方向性 | |
| ① | 生活困窮者支援体制構築事業 | 144,349 | C | 継続・見直し | 55 |
| ② | 福祉・介護人材確保対策事業 | 34,228 | A | 継続・見直し | 56 |
| | 福祉ボランティア活動活性化事業 | 17,045 | A | 継続・見直し | 57 |
| | 福祉ボランティア・市民活動推進事業 | 8,588 | A | 継続・見直し | 58 |
| ③ | (公)県営住宅整備事業 | 589,570 | A | 継続・見直し | 179 |
| | 高齢者・子育て世帯リフォーム支援事業 | 18,745 | B | 継続・見直し | 178 |
| | ユニバーサルデザイン推進事業 | 7,872 | A | 継続・見直し | 59 |

【VI. 施策に対する意見・提言】

| | |
|---|--|
| <p>○連合大分の知事への要請(H26.8)</p> <p>・介護を必要とする人が誰でも適切な介護を受けられるよう、介護を受ける人数に応じた職員数を確保したうえで、更なる介護労働者の質の向上や人材育成の研修等を充実させるため、事業主・研修受講者への支援や助成を周知・拡充させること。</p> | <p>○社会福祉審議会(H26.8)</p> <p>・社会的孤立者の支援に当たっては、申請に来れない人を積極的に発見し支援をしていくことが必要。</p> <p>・ユニバーサルデザインというとハードのみをイメージする県民が多いので、共生意識を高めていくところのユニバーサルデザインの取組が大事。</p> |
|---|--|

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

| 総合評価 | 施策展開の具体的内容 |
|------|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者自立支援法の施行に伴い、町村部の生活困窮者に対する包括的な支援を実施するとともに、県内全域における支援体制の整備を行う。 ・ユニバーサル社会の構築を促進するため、民間事業者の協力を得て、県民が身近なユニバーサルデザインに触れることのできるコーナーを設置するとともに、学校、地域及び職場でのユニバーサルデザイン出前講座を行い、より一層の推進を図る。 ・高齢化の進展等によりニーズが増大する福祉・介護分野の人材を確保するため、キャリア支援専門員を設置し、就職フェア、職場体験等の入職促進事業や、施設管理者研修、在職者のキャリアパス支援等の離職防止事業を実施する。 ・地域のつながりの再構築を図るため、民生委員・児童委員の活動に対する支援や、若者を巻き込んだサロン活動のモデル実施のほか、市町村や、市町村社協が行う社会福祉活動の支援を行う。 |